

校内授業研究会

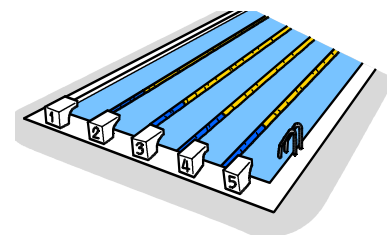
6月22日(火)、県教育委員会の指導主事の先生をお迎えして、校内授業研究会を行いました。授業を提示してくれたのは、2年生と4年生です。2年生は算数の授業で、「長さをはかってあらわそう」の学習、4年生も算数の授業で、「小数のしくみをしらべよう」の学習をしました。

いずれの学年においても、話す・聞く・書くなどの学習のやくそくや技能が定着しているとともに、優しく楽しい雰囲気の中で協力的に授業が進められており、参観している私たちもすがすがしい気持ちになりました。



プール清掃

6月18日(金)、プール内の清掃をしていただきました。6年生の子どもたちもプールサイドや更衣室、トイレの清掃をがんばるなど、プール使用に向けての準備を順調に進めることができました。プール開きは、7月に入ってから学年ごとに行う予定です。使用に際しては、プール内の塩素濃度を定期的に確認するとともに、ドアノブや蛇口、ビート板等の消毒を確実にを行うことを厳守し、安全に使用できるように細心の注意を払って行きたいと思っております。



不審者に注意

6月に入ってから、市内で不審者による無断撮影等の事案が連続して発生しております。万が一、不審者にあつたらすぐに学校に連絡してくださいませようお願いします。学校が連絡を受けると、学校からの一斉メールで、保護者や地域の方々、近くの学校に速やかに情報を提供し、二次被害防止につなげるようにします。

不審者にあつたときの連絡先

～当日報告100%で、子どもたちを守る！！～

□学校（電話）**-* ** ** *

□休日など学校につながらないときは、校長に連絡してください。

ネット依存から子どもを守る

先週は、「アウトメディアにチャレンジ」に取り組んでいただきありがとうございました。現在、市内のいくつかの中学校では生徒会を中心としてメディア活用について生徒自身が考える活動が進められています。本校においても、今後も矢島中学校との連携を図りながら、適切にメディアを活用することができるように指導していきたいと思ひます。

ネット依存とは、「勉強や仕事といった生活面や体や心の健康面などよりもインターネットの使用を優先してしまい、使う時間や方法を自分でコントロールできない」状態のことを指します。最近では、特に中高生のネット依存が問題で、ネット依存が疑われる中高生は約51万8千人と推計されています。ネット依存になると、体や心といった健康面や、家族や社会といった人間関係に問題が起こります。

ネット依存は依存対象を生活から完全に排除することが不可能です。ですから、「依存しているコンテンツだけをやめる」、「利用時間を減らす」といった明確なゴールを定めて利用することが必要となります。ネット依存にならないよう、予防することはある程度可能ですので、ネットの危険性について家族で確認した上で、使い方に関するルールづくりを話し合いながら決めるようにするとよいと思ひます。

（ネット利用のルールづくりのポイント）

- ・親の名義で購入し、子どもに貸し出していることを明確にする。
- ・使用時間、使用場所、使用金額を指定
- ・書面に残し、目に付くところに貼る
- ・ルールは親子一緒に決める
- ・ルールは子どもだけでなく親も守る

<NHK「きょうの健康」2016年12月21日放送内容から引用>

矢島健児あしあとの栄光の足跡

◎第39回全国ホープス卓球大会兼北日本ホープス卓球大会秋田県代表選考会（6月12日）

第3位 矢島卓球スポーツ少年団